

講演会：「モザイク国家スイスの平和教育」

演者：ミレーユ・グロジャン（スイス平和教育者協会議長）

日時： 2月21日（土） 午前10時より12時まで

場所： かでの 2.7 1030号室

参加費： 無料

主催：北海道エスペラント連盟・札幌エスペラント会（共催）

講演は国際共通語エスペラントで行われ、日本語通訳がつきます。午後は演者のグロジャン氏を囲んで「かでの 2.7」910号室にて座談会を行います。これにも通訳がつきますので、興味のある方は安心してご参加ください。

2月21日はちょうど第10回「国際母語の日」※に当たっており、グロジャン氏からは多民族・複数言語が併用されているスイスという国が、いかにして一つにまとまっているのか、各言語を平等に尊重するために、国はどんな努力をしているのかなどを話していただく予定です。



G：ドイツ語（63.7%）

F：フランス語（20.4%）

I：イタリア語（6.4%）

R：ロマンシュ語（0.5%）

その他の言語（9.0%）



演者紹介：スイス、ヌシャテル州（フランス語圏）のレブレネツの小学校で語学教育を担当してきた。地区評議員、ゴージュ民主連合委員長、アンリ・ギサン・スイス青年基金および、ヌシャテル学士院のメンバーであって、スイス平和教育連合の共同会長の要職にある。"Echanges de classes cle'en main"、ほかの著書がある。

エスペラント関係では、スイスエスペラント協会共同会長。世界エスペラント協会スイス代表委員、ジュネーブ国連欧州本部の世界エスペラント協会代行、国際エスペラント検定審査委員長など。

※国際母語の日：毎年2月21日。言語と文化の多様性、多言語の使用、そしてそれぞれの母語を尊重することを推進する目的で国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）が制定した日。

お問合せ：0126-62-4636（川合由香）まで。